

「阿賀北の大地と人々の暮らし」 常設展示をリニューアルしました

常設展示のテーマを「阿賀北の大地と人々の暮らし」として展示替えし、2015年5月に暫定オープンしました。

北区は、新潟市北地区と旧豊栄市等により構成されています。新潟市域では唯一阿賀野川右岸にあり、江戸時代には共に新発田藩や水原代官所の支配を受けてきました。また、1954(昭和29)年に北地区が新潟市と合併するまで、この地域は、北蒲原郡西部郷と呼ばれ、地域的に1つのまとまりと認識されていました。半世紀以上、それぞれの道を歩みましたが、2005年に平成の大合併、

2007年に政令指定都市となって区制がスタートし、今また「北区」という新たな歴史を歩み始めています。

北区という共有の大地で、今日を築き上げてきた北区の人々の暮らしを紹介し、新たな時代をきりひろく空間とします。ご観覧のみなさまのご意見を参考にしながら常設展示をさらに充実させ、2016年11月3日、第26回博物館まつりにおいてグランドオープンを予定しています。

新潟市北區郷土博物館長 宮崎 芳春



ホンリョウブネはかつて福島潟周辺で魚を捕るために使用されていた舟です。写真右のホンリョウブネは、当館所蔵のホンリョウブネをもとに2015年に製作しました。



水のめぐみ 福島潟の漁労風景(模型)



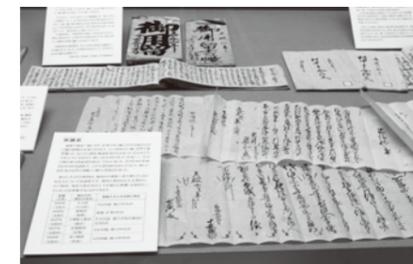
水とのたたかい 新田作りの道具



阿賀北のおたち 阿賀北地形模型



大昔の暮らし



くずし字が伝える北区



北区の明治維新



新潟県三大小作争議 木崎村小作争議



越後随一の陶磁器 太丘焼



映像コーナー 2016年4月より「新潟市北區の勤皇の志士 遠藤七郎」も公開します。



「郷土の芸術家」コーナーを特設し、「書家 弦巻松蔭の世界」の展示を行っています。

特色ある区づくり事業(常設展リニューアル等) 平成28年度事業計画

- ・常設展示グランドオープン
- ・常設展示ボランティアガイド養成講座
- ・常設展示ガイドブックの刊行
- ・こども博物館の開催
- ・ふるさと歴史文化学習プログラム

*詳細は p.10 に記載